

大学申請書

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	福島学院大学
設置者名	学校法人 福島学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
福祉学部	福祉心理学科	夜・通信			15	15	13	
	こども学科	夜・通信			16	16	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.fukushima-college.ac.jp/study_guide/

上記ホームページで公表のシラバス内に実務経験を記載

また、実務経験のある教員による授業科目の単位数については別添のとおり

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	
(困難である理由)	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福島学院大学
設置者名	学校法人 福島学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://www.fukushima-college.ac.jp/officer_list/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2019.4.1～ 2022.3.31	理事長職務代理者
非常勤	他大学役員	2019.4.1～ 2022.3.31	教育・研究
非常勤	他大学特別招聘教授	2019.4.1～ 2022.3.31	地域連携
非常勤	他大学教授	2019.4.1～ 2022.3.31	教育・研究
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福島学院大学
設置者名	学校法人 福島学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスの作成については、1月初旬に各教員へ作成要領等を添付して依頼をした。</p> <p>シラバスの内容について卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)や教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)、他授業との関連性について点検を行うなど、授業の工程表として機能するように作成することとしている。</p> <p>また、授業の到達目標、成績評価の在り方、知識・技能の修得に加えて、思考力・判断力・表現力等の能力、主体的に学習に取り組む態度の育成、また、担当授業科目が能力育成のどの部分を担うかを示し、学修成果の可視化に向けた取り組みの一環としている。</p> <p>実務経験のある教員の担当科目については、担当する授業科目に関連し、その実務経験を十分に授業に活かしながら、実践的教育を行うこととし、シラバスに掲載している。</p> <p>学生へは4月初旬の学科別オリエンテーションにてシラバスを配布し、履修登録に繋げている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>『シラバス記入要領』 各教員に印刷物として配布(別添)</p> <p>『授業計画(シラバス)』 福祉学部福祉心理学科・こども学科 http://www.fukushima-college.ac.jp/study_guide/</p> <p>『教務・履修ガイド』(履修の手引き) http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/common_learning/2019_risyuu_guide.pdf</p>

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位認定の基準は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び学則に規定している。</p> <p>また、シラバス記入要領により、成績評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、学生が授業の到達目標に対する達成度及び修得した基礎知識・技能等をどの程度達成したかを、多面的・総合的に判断して行い、客観的および厳格性を確保するため、ペーパーテストのみで評価することのないよう、評価の配分割合も記載することとしている。</p> <p>学生に対しては最初の授業の際に具体的に説明を行い、成績評価にあたっては、より公正な成績評価となるよう補足的事項（シラバス記入要領 P9～P12）を定めている。</p> <p>また、教員授業実施規程を定め、授業の実施にあたり留意すべき事項、本学の教育理念の実現等、魅力ある授業の実施について規定し、これを遵守することとしている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学の評価と本学独自のGPA制度について</p> <p>本学の成績評価は、100点を満点とし、60点以上を合格、59点以下を不合格としており、学生が単位を取得するためには、履修した科目について60点以上の評価を受けなければならない。</p> <p>更には、評価の公正を期し、厳格さを保つため、授業科目ごとの「素点」と「単位数」をもとにGPA（成績評定平均点）を算出する方法を採用している。独自のGPA制度を活用し、様々な教育上の取り組みに生かし、本学の特色の一つとしている。</p> <p>本学のGPAの算出方法は、単位取得科目の成績評価点（素点）に単位数を掛けた数値を全単位取得科目について合計し、さらにそれを総取得単位数で割った点数となる。合格した科目の1単位当たりの平均点となる。不合格科目は計算に入れていない。この方法によれば、ランク内格差（同じA評価でも89点と80点では9点の差がある）が素点に応じて評価され、さらに取得単位数に見合う公正な評価が可能となる。</p> <p>また、検定試験等により単位認定を受けた科目も計算外となる。</p> <p>各科目においては、多面的・総合的に判断し、評価基準は測定可能なものとし、学生から評価の根拠を照会された場合、明確に回答できるようにしておく必要がある。</p> <p>なお、卒業認定・学位授与要件の一つとして、GPA70点以上が盛り込まれている。</p> <p>また、各年度前期末、後期末毎に科目単位の成績評価分布グラフ、学科学年GPA分布グラフを作成し、担当教員、学科長（学科分析用）に配布し、それぞれ成績分布状況の把握、カリキュラム設計、授業担当委嘱等の検討材料としている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>『GPAの算定について』 http://www.fukushima-college.ac.jp/gpa/</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）は学則に規定し、規定する個々の評価を本学が定める GPA 基準により総合的な学修経験を通して修学し、学士の学位を授与するにふさわしい人格と識見と健全な精神を有していると学科会議で認められた者に、学長は教授会の議を経て卒業を認め、「学士」の学位を授与することとしている。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>『福島学院大学 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）』 福祉学部福祉心理学科 http://www.fukushima-college.ac.jp/welfare_psy_learning/ 福祉学部こども学科 http://www.fukushima-college.ac.jp/welfare_child_learning/</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	福島学院大学
設置者名	学校法人 福島学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/finance/2020/taisyaku_2020.pdf
事業活動収支計算書	http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/finance/2020/jigyokatudou_2019-20.pdf
財産目録	http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/finance/2020/zaisan_2020.pdf
事業報告書	http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/finance/2019_jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告書	http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/finance/2020/kanjikansa_2020.pdf

2. 事業計画 (任意記載事項)

単年度計画 (名称 :)	対象年度 :)
公表方法 :	
中長期計画 (名称 :)	対象年度 :)
公表方法 :	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法 :
http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/about_index/2019-jikotenken.pdf

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法 :
http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/about_index/h29_hyoukahoukokusyo.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 福祉学部 福祉心理学科
教育研究上の目的（公表方法： http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/regulation/D-02_gakusoku_300401.pdf ）
（概要） 福祉心理学科においては、社会福祉、精神保健福祉、臨床心理、カウンセリング等の分野において将来の専門職として必要な教育を行うとともに、他者の心の痛みに共感でき、心の痛みを抱える人々に積極的な援助活動を行うことができる人材を育成することとしている。
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.fukushima-college.ac.jp/welfare_psy_learning/ ）
（概要） 福祉心理学科においては、心理的対人援助活動に関心を持ち、広く社会の福祉に貢献する人材の育成を目指す学科教育に基づき、教養教育科目及び専門教育科目において指定された科目を履修し、その他、学則に示された所定の要件を満たすことを基本としている。 単位の修得にあたっては、各科目にそれぞれに対応する教育目標として、知識や技能、論理的思考力、文章・身体・感性等に関する表現力、課題対処力、多様性の理解力や対人関係構築力の獲得などが設定されており、これら個々の評価を合わせ、総合的な学修経験を通して修学したことを学科教育、人材育成の目的に適う者とし、かつ、学士の学位を授与するにふさわしい人格識見と健全な精神を有していると福祉心理学科会議で判定された学生について、学長が教授会の議を経て卒業を認定し、「学士（福祉心理学）」の学位を授与することとしている。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： http://www.fukushima-college.ac.jp/welfare_psy_learning/ ）
（概要） 教育課程の編成にあたっては、学部及び学科にかかる専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するように配慮している。 福祉心理学科の教養教育科目では、学生・社会人としての現代的教養観、即ち表現力やコミュニケーション能力・情報リテラシー、および生活教養などを重視した科目で編成している。 専門教育課程は、福祉と心理という学際的領域で、他者の心の痛みに共感でき、心の痛みを抱える人々に積極的な援助活動を行うことができる人材を育成するために「専門基礎科目」「心理関連科目」「社会福祉・精神保健福祉関連科目」の科目群で構成し、「福祉」と「心理」の分野から所定の単位を修得することを卒業要件とし、心のケアができる人材を育てる教育課程を編成している。 教養教育・専門教育科目それぞれに、知識や技能、論理的思考力、文章・身体・感性等に関する表現力、課題対処力、多様性の理解力や対人関係構築力の獲得など対応する教育目標が設定されており、これら個々の評価を合わせ、総合的な学修経験を通して学科教育、人材育成の目的に到達できるよう各年次に配当して編成している。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：http://www.fukushima-college.ac.jp/welfare_psy_learning/）

（概要）

福祉心理学科では、心理的対人援助活動に関心を持ち、社会福祉、精神保健福祉、臨床心理、カウンセリング等の分野において広く地域社会に根ざし、将来に渡って地域の発展に寄与しようとする気概を持つ人、現代社会に必要な知識と教養を身に付け、自らを高める努力をしようとする人を求めている。

福祉心理学科においては、学修するための基本となる学力要素を、高等学校での学習を通して教科毎に形成された知識や技能に求めている。この知識や技能を証明するものとして、各学科に定める高等学校での評定平均を重視し、その中でも特に、人間関係構築の基本であり、コミュニケーション能力の基礎となる国語力を身につけていることを希望している。

別に定める学科による各選考方法の基本は、高等学校における学習成果を前提に、福祉心理学科において新たな知識を獲得するための希望者本人の意欲や論理的思考能力を確認することである。各選考に共通して設けられた面接では、学科への適性のほか、生徒会・部活動や地域ボランティアなど課外活動の実績も評価していく。

学部等名 福祉学部 こども学科

教育研究上の目的（公表方法：http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/regulation/D-02_gakusoku_300401.pdf）

（概要）

こども学科においては、教育・福祉両面に渡る発達支援、子育て支援を担う専門職を目指し、乳幼児期を中心とした保育および幼児教育に関する教育研究を行い、将来的に保育教諭、幼稚園教諭ならびに保育士として指導的役割を担うことのできる人材を育成することとしている。

卒業の認定に関する方針（公表方法：http://www.fukushima-college.ac.jp/welfare_child_learning/）

（概要）

こども学科においては、教育・福祉両面にわたる発達支援、子育て支援を担う専門職の育成を目指す学科教育に基づき、教養教育科目及び専門教育科目において指定された科目を履修し、その他、学則に示された所定の要件を満たすことを基本としている。

単位の修得にあたっては、各科目にそれぞれに対応する教育目標として、知識や技能、論理的思考力、文章・身体・感性等に関する表現力、課題対処力、多様性の理解力や対人関係構築力の獲得などが設定されており、これら個々の評価を合わせ、総合的な学修経験を通して修学したことを学科教育、人材育成の目的に適う者とし、かつ、学士の学位を授与するにふさわしい人格識見と健全な精神を有していることども学科会議で判定された学生について、学長が教授会の議を経て卒業を認定し、「学士（こども学）」の学位を授与することとしている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：<http://www.fukushima->

college.ac.jp/welfare_child_learning/

(概要)

教育課程の編成にあたっては、学部及び学科にかかる専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するように配慮している。

こども学科の教育課程は、教養教育科目と専門教育科目からなり、さらに各授業科目を必修科目、選択科目に分け、これを各年次に配当して編成している。

教養教育科目では、学生・社会人としての現代的教養観、即ち表現力やコミュニケーション能力・情報リテラシー、および生活教養などを重視した科目で編成している。

専門教育課程の編成は、幼稚園教諭一種免許状を取得しようとする者のために教育職員免許法および同法施行規則に規定する科目を置き、保育士の資格を取得しようとする者のために児童福祉法および同法施行規則に規定する科目を置き、幼稚園教諭養成課程と保育士養成課程を設置している。また、幼稚園教諭一種免許状と保育士資格双方の取得により認定こども園に勤務した場合は、保育教諭となることを可能としている。

教養教育・専門教育科目それぞれに、知識や技能、論理的思考力、文章・身体・感性等に関する表現力、課題対処力、多様性の理解力や対人関係構築力の獲得など対応する教育目標が設定されており、これら個々の評価を合わせ、総合的な学修経験を通して学科教育、人材育成の目的に到達できるよう各年次に配当して編成している。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：http://www.fukushima-college.ac.jp/welfare_child_learning/）

(概要)

こども学科では、教育・福祉両面にわたる発達支援、子育て支援を担う専門領域において、地域社会に根ざし、将来に渡って保育および幼児教育の領域における指導者として地域の発展に寄与しようとする気概を持つ人、現代社会に必要な知識と教養を身に付け、自らを高める努力をしようとする人を求めている。

こども学科においては、学修するための基本となる学力要素を、高等学校での学習を通して教科毎に形成された知識や技能に求めている。この知識や技能を証明するものとして、各学科に定める高等学校での評定平均を重視し、その中でも特に、人間関係構築の基本であり、コミュニケーション能力の基礎となる国語力を身につけていることを希望している。

別に定める学科による各選考方法の基本は、高等学校における学習成果を前提に、こども学科において新たな知識を獲得するための希望者本人の意欲や論理的思考能力を確認することである。各選考に共通して設けられた面接では、学科への適性のほか、生徒会・部活動や地域ボランティアなど課外活動の実績も評価していく。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：http://www.fukushima-college.ac.jp/research_organization/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
福祉学部	—	13人	4人	5人	3人	0人	25人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
1人			人				1人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)			公表方法： http://www.fukushima-college.ac.jp/teacher_profile/				
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
福祉学部	110人	120人	109%	440人	379人	86%	人	1人
合計	110人	120人	109%	440人	379人	86%	人	1人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
福祉学部	64人 (100%)	2人 (3.1%)	57人 (89.1%)	5人 (7.8%)
合計	64人 (100%)	2人 (3.1%)	57人 (89.1%)	5人 (7.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) シラバスの内容について卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）や教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）、他授業との関連性について点検を行うなど、授業の工程表として機能するように作成することとしている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 単位認定の基準は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）及び学則に規定している。 また、シラバス記入要領により、成績評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、学生が授業の到達目標に対する達成度及び修得した基礎知識・技能等をどの程度達成したかを、多面的・総合的に判断して行い、客観的および厳格性を確保するため、ペーパーテストのみで評価することのないよう、評価の配分割合も記載することとしている。 学生に対しては最初の授業の際に具体的に説明を行い、成績評価にあたっては、より公正な成績評価となるよう補足的事項（シラバス記入要領 P9～P12）を定めている。 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）は学則に規定し、規定する個々の評価を本学が定める GPA 基準により総合的な学修経験を通して修学し、学士の学位を授与するにふさわしい人格と識見と健全な精神を有していると学科会議で認められた者に、学長は教授会の議を経て卒業を認め、「学士」の学位を授与する。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
福祉学部	福祉心理学科	124 単位	有・無	単位
	こども学科	124 単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：http://www.fukushima-college.ac.jp/campus_index/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他
福祉学部	福祉心理学科	800,000円	150,000円	教育充実費 280,000円、家族会費 15,000円 ※その他、実験実習費を実費徴収
	こども学科	800,000円	150,000円	教育充実費 280,000円、家族会費 15,000円 ※その他、実験実習費を実費徴収

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 遠方から入学する学生に対してのアパート情報の提供及びアルバイトやボランティアの紹介をしている。また、学生への経済的支援として、日本学生支援機構や社会福祉協議会等の各種奨学金手続きの指導と支援を実施している。今年度は、コロナウィルス対策関連の支援についても適宜対応している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 学生支援課を中心に、各学科のキャリア支援担当教員が、個別の進路選択や就職活動などの相談に対応している。 特に就職活動に関しては、各種ガイダンスや適性検査・模擬試験、各種セミナー、公務員試験対策講座等に加え、クラスセミナーの時間を利用して、求人情報の提供・具体的な就職活動の進め方やポイントなど全体的な就職活動支援を行っている。 また、福島新卒応援ハローワークをはじめ、福島県社会福祉協議会、福島県私立幼稚園・認定こども園連合会など関係機関とも連携を図り、きめ細かい支援を行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生の健康管理のための定期健康診断を行い、更に全学生が健康調査票で自身の健康状態を申告している。また、メンタルヘルスケアやカウンセリングの体制として、学生が専門的な知識を必要とした場合、附属施設である心理臨床相談センターと連携し、学生のメンタルケアを支援している。さらに学生相談カウンセラー1名（臨床心理士・女性）を配置し、より手厚い学生支援を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：http://www.fukushima-college.ac.jp/disclosures_index/

短期大学申請書

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	福島学院大学短期大学部
設置者名	学校法人 福島学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	保育学科	夜・通信	4		25	25	7	
	食物栄養学科	夜・通信			12	12	7	
	情報ビジネス学科	夜・通信			10	10	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.fukushima-college.ac.jp/study_guide/

上記ホームページで公表のシラバス内に実務経験を記載

また、実務経験のある教員による授業科目の単位数については別添のとおり

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福島学院大学短期大学部
設置者名	学校法人 福島学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://www.fukushima-college.ac.jp/officer_list/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2019.4.1～ 2022.3.31	理事長職務代理者
非常勤	他大学役員	2019.4.1～ 2022.3.31	教育・研究
非常勤	他大学特別招聘教授	2019.4.1～ 2022.3.31	地域連携
非常勤	他大学教授	2019.4.1～ 2022.3.31	教育・研究
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福島学院大学短期大学部
設置者名	学校法人 福島学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスの作成については、1月初旬に各教員へ作成要領等を添付して依頼をした。</p> <p>シラバスの内容について卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)や教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)、他授業との関連性について点検を行うなど、授業の工程表として機能するように作成することとしている。</p> <p>また、授業の到達目標、成績評価の在り方、知識・技能の修得に加えて、思考力・判断力・表現力等の能力、主体的に学習に取り組む態度の育成、また、担当授業科目が能力育成のどの部分を担うかを示し、学修成果の可視化に向けた取り組みの一環としている。</p> <p>実務経験のある教員の担当科目については、担当する授業科目に関連し、その実務経験を十分に授業に活かしながら、実践的教育を行うこととし、シラバスに掲載している。</p> <p>学生へは4月初旬の学科別オリエンテーションにてシラバスを配布し、履修登録に繋げている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>『シラバス記入要領』 各教員に印刷物として配布(別添)</p> <p>『授業計画(シラバス)』 保育学科・食物栄養学科・情報ビジネス学科 http://www.fukushima-college.ac.jp/study_guide/</p> <p>『教務・履修ガイド』(履修の手引き) http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/common_learning/2019_risyuu_guide.pdf</p>

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位認定の基準は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）及び学則に規定している。</p> <p>また、シラバス記入要領により、成績評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、学生が授業の到達目標に対する達成度及び修得した基礎知識・技能等をどの程度達成したかを、多面的・総合的に判断して行い、客観的および厳格性を確保するため、ペーパーテストのみで評価することのないよう、評価の配分割合も記載することとしている。</p> <p>学生に対しては最初の授業の際に具体的に説明を行い、成績評価にあたっては、より公正な成績評価となるよう補足的事項（シラバス記入要領 P9～P12）を定めている。</p> <p>また、教員授業実施規程を定め、授業の実施にあたり留意すべき事項、本学の教育理念の実現等、魅力ある授業の実施について規定し、これを遵守することとしている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学の評価と本学独自のGPA制度について</p> <p>本学の成績評価は、100点を満点とし、60点以上を合格、59点以下を不合格としており、学生が単位を取得するためには、履修した科目について60点以上の評価を受けなければならない。</p> <p>更には、評価の公正を期し、厳格さを保つため、授業科目ごとの「素点」と「単位数」をもとにGPA（成績評定平均点）を算出する方法を採用している。独自のGPA制度を活用し、様々な教育上の取り組みに生かし、本学の特色の一つとしている。</p> <p>本学のGPAの算出方法は、単位取得科目の成績評価点（素点）に単位数を掛けた数値を全単位取得科目について合計し、さらにそれを総取得単位数で割った点数となる。合格した科目の1単位当たりの平均点となる。不合格科目は計算に入れていない。この方法によれば、ランク内格差（同じA評価でも89点と80点では9点の差がある）が素点に応じて評価され、さらに取得単位数に見合う公正な評価が可能となる。また、検定試験等により単位認定を受けた科目も計算外となる。</p> <p>各科目においては、多面的・総合的に判断し、評価基準は測定可能なものとし、学生から評価の根拠を照会された場合、明確に回答できるようにしておく必要がある。</p> <p>なお、卒業認定・学位授与要件の一つとして、GPA70点以上が盛り込まれている。</p> <p>また、各年度前期末、後期末毎に科目単位の成績評価分布グラフ、学科学年GPA分布グラフを作成し、担当教員、学科長（学科分析用）に配布し、それぞれ成績分布状況の把握、カリキュラム設計、授業担当委嘱等の検討材料としている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>『GPAの算定について』 http://www.fukushima-college.ac.jp/gpa/</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）は学則に規定し、規定する個々の評価を本学が定める GPA 基準により総合的な学修経験を通して修学し、学士の学位を授与するにふさわしい人格と識見と健全な精神を有していると学科会議で認められた者に、学長は教授会の議を経て卒業を認め、「学士」の学位を授与する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>『福島学院大学短期大学部 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）』</p> <p>保育学科 http://www.fukushima-college.ac.jp/jc_hoiku_learning/</p> <p>食物栄養学科 http://www.fukushima-college.ac.jp/jc_syoku_learning/</p> <p>情報ビジネス学科 http://www.fukushima-college.ac.jp/jc_jyohou_learning/</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	福島学院大学短期大学部
設置者名	学校法人 福島学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/finance/2020/taisaku_2020.pdf
事業活動収支計算書	http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/finance/2020/jigyokatudou_2019-20.pdf
財産目録	http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/finance/2020/zaisan_2020.pdf
事業報告書	http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/finance/2019_jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告書	http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/finance/2020/kanjikansa_2020.pdf

2. 事業計画 (任意記載事項)

単年度計画 (名称 : _____ 対象年度 : _____)
公表方法 :
中長期計画 (名称 : _____ 対象年度 : _____)
公表方法 :

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法 : http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/about_index/2019-jikotenken.pdf

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法 : http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/about_index/h29_hyoukahoukokusyo.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保育学科
教育研究上の目的（公表方法： http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/regulation/D-07_tan_gakusoku_300401.pdf ）
（概要） 保育学科においては、多様な保育ニーズに対応できる教養と専門的な知識・技術を持った人材を育成することとしている。
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.fukushima-college.ac.jp/jc_hoiku_learning/ ）
（概要） 保育学科は、子育てに関する多様な変化と時代背景に対応した人材の育成を目指す学科教育に基づき、教養教育科目及び専門教育科目において指定された科目を履修し、定められた単位を修得する事が基本となる。各科目には、科目それぞれに対応する教育目標として、知識や技能、論理的思考力、文章・身体・感性等に関する表現力、課題対処力、多様性の理解力や対人関係構築力の獲得などが設定され、単位が認定される。 これら個々の評価を本学が定める GPA 基準により総合的な学修経験を通して修学したと学科会議で認められた者に、学長は教授会の議を経て卒業を認め、「短期大学士（保育学）」の学位を授与することとしている。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： http://www.fukushima-college.ac.jp/jc_hoiku_learning/ ）
（概要） 本学は地域社会に根ざし、広く地域の各分野に貢献できる人材育成を目指している。教養教育科目と専門教育科目からなる体系的な教育課程を編成し、職業又は实际生活に必要な知識と技術を培うための実践的な科目を設定している。 保育学科の専門教育科目は、子育てに関する多様な変化と時代背景に対応した人材の育成を目指し、多様なニーズに対応できる専門的な知識・技術を持った人材の育成を図るための科目を設定している。 専門教育科目の学びを通し、教育・保育に関する専門職として必要な知識や技能を修得し、さらに子どもの育ちに対する深い洞察力をもって、一人ひとりの特性に柔軟に対応した教育・保育の実践を担う人材の育成ができるよう、教育課程を編成している。なお、「教員免許課程」および「指定保育士養成」に基づく教育課程を履修し、単位を修得した者に幼稚園教諭二種免許状、保育士資格が取得できるよう教育課程を編成している。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：http://www.fukushima-college.ac.jp/jc_hoiku_learning/）

（概要）

保育学科では、子育てに関する多様な変化と時代背景に対応した人材として広く地域社会に根ざし、地域の発展に貢献できるよう、専門の知識や技術を学ぶ意欲を持つ人を求めている。

保育学科を希望する学生には、本学で学修するための基礎・基本となる学力要素を、高等学校での学習を通して教科毎に形成された知識や技能に求めている。この知識や技能を証明するものとして、高等学校での調査書並びに評定平均を重視し、その中でも人間関係構築の基本であり、コミュニケーション能力の基礎となる国語力を身につけていることを希望している。

推薦型選考や総合型選考では、面接により希望者本人の意欲の他、コミュニケーション能力を確認することとしている。一般選考では、面接による希望者本人の意欲、コミュニケーション能力を確認し、併せて小論文による論理的思考能力が重要な評価対象となっている。

学部等名 食物栄養学科

教育研究上の目的（公表方法：http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/regulation/D-07_tan_gakusoku_300401.pdf）

（概要）

食物栄養学科においては、豊かな教養と、よりよい食生活を実現するための理論と実践を身につけた人材を育成する。

卒業の認定に関する方針（公表方法：http://www.fukushima-college.ac.jp/jc_syoku_learning/）

（概要）

食物栄養学科は、食と健康に関わる分野において活躍できる人材の育成を目指す学科教育に基づき、教養教育科目及び専門教育科目において指定された科目を履修し、定められた単位を修得する事が基本となる。各科目には、科目それぞれに対応する教育目標として、知識や技能、論理的思考力、文章・身体・感性等に関する表現力、課題対処力、多様性の理解力や対人関係構築力の獲得などが設定され、単位が認定される。

これら個々の評価を本学が定めるGPA基準により総合的な学修経験を通して修学したと学科会議で認められた者に、学長は教授会の議を経て卒業を認め、「短期大学士（食物栄養学）」の学位を授与することとしている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：http://www.fukushima-college.ac.jp/jc_syoku_learning/）

（概要）

本学は地域社会に根ざし、広く地域の各分野に貢献できる人材育成を目指している。教養教育科目と専門教育科目からなる体系的な教育課程を編成し、職業又は实际生活に必要な知識と技術を培うための実践的な科目を設定している。

食物栄養学科の専門教育科目は、将来、栄養士として活躍するうえで重要な「社会生活と健康」「人体の構造と機能」「食品と衛生」の分野における基礎的専門知識を修得できる科目と「栄養と健康」「栄養の指導」「給食の運営」の分野における専門的技

術や行動力、判断力を身につけることができる科目を設定している。なお、栄養士養成課程における指定科目を履修し、単位を修得した者に栄養士資格が取得できるよう教育課程を編成している。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：http://www.fukushima-college.ac.jp/jc_syoku_learning/）

（概要）

食物栄養学科では、豊かな教養と、よりよい食生活を実現するための理論と実践を身につけた人材として広く地域社会に根ざし、地域の発展に貢献できるよう、専門の知識や技術を学ぶ意欲を持つ人を求めている。

食物栄養学科を希望する学生には、本学で学修するための基礎・基本となる学力要素を、高等学校での学習を通して教科毎に形成された知識や技能に求めている。この知識や技能を証明するものとして、高等学校での調査書並びに評定平均を重視し、その中でも人間関係構築の基本であり、コミュニケーション能力の基礎となる国語力を身につけていることを希望している。

推薦型選考や総合型選考では、面接により希望者本人の意欲の他、コミュニケーション能力を確認することとしている。一般選考では、面接による希望者本人の意欲、コミュニケーション能力を確認し、併せて小論文による論理的思考能力が重要な評価対象となっている。

学部等名 情報ビジネス学科

教育研究上の目的（公表方法：http://www.fukushima-college.ac.jp/wp-content/themes/fukushimacollege/img/regulation/D-07_tan_gakusoku_300401.pdf）

（概要）

情報ビジネス学科においては、ビジネス社会が求めるコミュニケーション能力、IT技術、ビジネスマナー、職業意識、基礎学力を身につけた人材を育成する。

卒業の認定に関する方針（公表方法：http://www.fukushima-college.ac.jp/jc_jyohou_learning/）

（概要）

情報ビジネス学科は、ビジネス社会が求めるコミュニケーション能力、IT技術、ビジネスマナー等を身につけた人材の育成を目指す学科教育に基づき、教養教育科目及び専門教育科目において指定された科目を履修し、定められた単位を修得する事が基本となる。各科目には、科目それぞれに対応する教育目標として、知識や技能、論理的思考力、文章・身体・感性等に関する表現力、課題対処力、多様性の理解力や対人関係構築力の獲得などが設定され、単位が認定される。これら個々の評価を本学が定めるGPA基準により総合的な学修経験を通して修学したと学科会議で認められた者に、学長は教授会の議を経て卒業を認め、「短期大学士（情報ビジネス学）」の学位を授与することとしている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：http://www.fukushima-college.ac.jp/jc_jyohou_learning/）

(概要)

本学は地域社会に根ざし、広く地域の各分野に貢献できる人材育成を目指している。教養教育科目と専門教育科目からなる体系的な教育課程を編成し、職業又は實際生活に必要な知識と技術を培うための実践的な科目を設定している。

情報ビジネス学科の専門教育科目は、ビジネス社会が求めるコミュニケーション能力、IT 技術、ビジネスマナー等を身につけることを目標として、「情報リテラシーの修得」「コミュニケーション能力の修得」「ビジネス実務の修得」「豊かな教養と表現力の修得」の4つの分野で編成している。ビジネス実務士や情報処理士の資格をはじめ、ビジネス分野の資格取得も目指せるよう編成している。また、社会と関わりながら学ぶことにより、職業意識を身につけるとともに、実践力を養う。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：http://www.fukushima-college.ac.jp/jc_jyohou_learning/）

(概要)

情報ビジネス学科では、ビジネス社会が求めるコミュニケーション能力、IT 技術、ビジネスマナー等を身につけた人材として広く地域社会に根ざし、地域の発展に貢献できるよう、専門の知識や技術を学ぶ意欲を持つ人を求めている。

情報ビジネス学科を希望する学生には、本学で学修するための基礎・基本となる学力要素を、高等学校での学習を通して教科毎に形成された知識や技能に求めている。

この知識や技能を証明するものとして、高等学校での調査書並びに評定平均を重視し、その中でも人間関係構築の基本であり、コミュニケーション能力の基礎となる国語力を身につけていることを希望している。

推薦型選考や総合型選考では、面接により希望者本人の意欲の他、コミュニケーション能力を確認することとしている。一般選考では、面接による希望者本人の意欲、コミュニケーション能力を確認し、併せて小論文による論理的思考能力が重要な評価対象となっている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：http://www.fukushima-college.ac.jp/research_organization/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
食物栄養学科	—	2人	0人	3人	0人	0人	5人
保育学科	—	4人	4人	6人	0人	0人	14人
情報ビジネス学科	—	6人	0人	1人	0人	0人	7人
計	1人	12人	4人	10人	0人	0人	27人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
2人		人					2人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)			公表方法： http://www.fukushima-college.ac.jp/teacher_profile/				
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保育学科	150人	73人	49%	300人	210人	70%	人	0人
食物栄養学 科	50人	26人	52%	100人	50人	50%	人	0人
情報ビジネ ス学科	60人	33人	55%	120人	91人	76%	人	0人
合計	260人	132人	51%	520人	351人	68%	人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保育学科	108人 (100%)	1人 (0.9%)	100人 (92.6%)	7人 (6.5%)
食物栄養学科	25人 (100%)	2人 (8%)	22人 (88%)	1人 (4%)
情報ビジネス 学科	49人 (100%)	1人 (2.0%)	44人 (89.8%)	4人 (8.2%)
合計	182人 (100%)	4人 (2.2%)	166人 (91.2%)	12人 (6.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
シラバスの内容について卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)や教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)、他授業との関連性について点検を行うなど、授業の工程表として機能するように作成することとしている。

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
単位認定の基準は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)及び学則に規定している。
また、シラバス記入要領により、成績評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、学生が授業の到達目標に対する達成度及び修得した基礎知識・技能等をどの程度達成したかを、多面的・総合的に判断して行い、客観的および厳格性を確保するため、ペ

一パーテストのみで評価することのないよう、評価の配分割合も記載することとしている。

学生に対しては最初の授業の際に具体的に説明を行い、成績評価にあたっては、より公正な成績評価となるよう補足的事項（シラバス記入要領 P9～P12）を定めている。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）は学則に規定し、規定する個々の評価を本学が定める GPA 基準により総合的な学修経験を通して修学し、学士の学位を授与するにふさわしい人格と識見と健全な精神を有していると学科会議で認められた者に、学長は教授会の議を経て卒業を認め、「学士」の学位を授与する。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	保育学科	63 単位	有・無	単位
	食物栄養学科	64 単位	有・無	単位
	情報ビジネス学科	68 単位		
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：http://www.fukushima-college.ac.jp/campus_index/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他
	保育学科	780,000 円	120,000 円	教育充実費 280,000 円、施設設備費 100,000 円、 家族会費 15,000 円、※その他、実験実習費を実費徴収
	保育学科 計画履修	400,000 円	80,000 円	教育充実費 220,000 円、施設設備費 60,000 円、 家族会費 10,000 円、※その他、実験実習費を実費徴収
	食物栄養学科	780,000 円	120,000 円	教育充実費 285,000 円、施設設備費 100,000 円、 家族会費 15,000 円 ※その他、実験実習費を実費徴収
	情報ビジネス学科	780,000 円	120,000 円	教育充実費 295,000 円、施設設備費 100,000 円、 家族会費 15,000 円 ※その他、実験実習費を実費徴収

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 遠方から入学する学生に対してのアパート情報の提供及びアルバイトやボランティアの紹介をしている。また、学生への経済的支援として、日本学生支援機構や社会福祉協議会等の各種奨学金手続きの指導と支援を実施している。今年度は、コロナウィルス対策関連の支援についても適宜対応している。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 学生支援課を中心に、各学科のキャリア支援担当教員が、個別の進路選択や就職活動などの相談に対応している。 特に就職活動に関しては、各種ガイダンスや適性検査・模擬試験、各種セミナー、公務員試験対策講座等に加え、クラスセミナーの時間を利用して、求人情報の提供・具体的な就職活動の進め方やポイントなど全体的な就職活動支援を行っている。 また、福島新卒応援ハローワークをはじめ、福島県社会福祉協議会、福島県私立幼稚園・認定こども園連合会など関係機関とも連携を図り、きめ細かい支援を行っている。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 学生の健康管理のための定期健康診断を行い、更に全学生が健康調査票で自身の健康状態を申告している。また、メンタルヘルスケアやカウンセリングの体制として、学生が専門的な知識を必要とした場合、附属施設である心理臨床相談センターと連携し、学生のメンタルケアを支援している。さらに学生相談カウンセラー1名（臨床心理士・女性）を配置し、より手厚い学生支援を行っている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：http://www.fukushima-college.ac.jp/disclosures_index/</p>
